

関西大学スポーツマンクラブの今後と長柄会

関西大学スポーツマンクラブ 会長 中井邦夫

長柄会の皆様方におかれましては第64回目の総会が開催されますこと、誠にありがとうございます。

母校関大が昨年120周年を迎え、我がスポーツマンクラブも、創立40周年の節目を終わりました。これもひとえに長柄会をはじめ、各友好団体の皆様方のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

さて、関西大学二部は平成4年に天六から千里山へと移転し、平成14年には、フレックス制導入最後の新入生が入りましたが、いわゆる夜間学生という位置づけがその辺りから薄まり、ついには、昨年その4回生の卒業を待って、形式的には二部は完全に消滅致しました。正直なところは時代の趨勢とはいえ残念でなりません。今年3月で二部体育会はなくならず、新年度に入ってほとんどクラブは同好会で存続させ、そのほか一部と合流するクラブ、解散を余儀なくされるクラブに分かれます。

しかしながら、天六で共に汗をかき、動き、学んだ仲間が「押忍、ごっつあんです。」の挨拶で、酒が飲め、思い出話ができ、卒業後

のこと、現状のこと、これからのことについていつも話ができるこの熱き仲間がいる限り、スポーツマンクラブは永遠に不滅です。私は、年齢を積み重ねる毎にその思いは募るばかりですが、関大二部現役が一時的に途絶えても、スポーツマンクラブは、長柄会をはじめとして友好団体との親交は益々結束が固くなっていくものと信じています。

現役支援をその主たる目的としてきた我がスポーツマンクラブとしては、忸怩たるものがあります。時代としては、時代の變化について行くことが必要だと今年

の七夕総会において会則を大きく見直しました。たとえば、旧関西大学二部体育会所属各部OB会の品位の保持および会員相互の交誼を厚くすることにより、校友会活動を通じて母校の発展に寄与することし、各部OB会の発展向上に関する活動を行うこと、母校の発展に寄与するとともに本会の友好団体との交流を図ること等を目的としました。さらに、関大二部体育会卒業生に限定せず、



長柄会、天六同友会、スポーツマンクラブは、関西大学が認める関大二部OB会友好3団体であります。このことの自覚をしっかりと携えて、OB会やOB各人が母校の発展に寄与し、社会への貢献を高めていくことが

これからの我々の使命と考えております。最後になりましたが、現在関大二部の精神を引き継いでいただいている現役諸君もOBを信じて頑張っていたいただきたい。時代が変わり二部復活の時代が来るかもしれない。すでに現役支援については充電期間

に入りましたが、いつでも新たな現役支援が出来ることも視野に入れスポーツマンクラブと長柄会はこれからその使命に向か



輩のコンドミニアムで夜遅くまで飲み明かした。(先輩どうもゴッツアンでした) ところでハワイでの観光といえはやはりダイアモンドヘッドだろう。ちょうど双胴船の観光ヨットが出航するといつので皆で乗り込んだ。(若干1名ホテルの部屋で寝ておられたが)ワイキキの浜辺から見慣れた景色とは違いう海からの姿もまた格別だ。その翌日、ダイアモンドヘッドの頂上まで登ってしまっ。バスを降りてから歩くこと40分。でも頂上につくと面白い空とパノラマの海、そしてワイキキの浜辺が

第28代 馬淵 純一

第10回三部合同ゴルフコンペ 長柄会の肩荷利勝さん(25代)が優勝

二部OB団体のスポーツマンクラブ、天六同友会、応援団OB長柄会が主催する「第10回三部合同ゴルフコンペ」が、6月21日に兵庫県宝塚市の愛宕原ゴルフ倶楽部で開催された。

スポーツマンクラブの主催で開催された今回のコンペは10回記念ということで、参加兼記念品として、関西大学二部、3団体のオンネーム入りバレット装着用のグリーンメーカーを作成し、参加者全員に手渡した。参加者の日頃の行いが余程良かったのか、好天に恵まれ、絶好のコースコンディション

肩荷さんは優勝スピーチで、「ダブルレリアなので、隠しホールに恵まれただけでしよう」と控えめだったが、昨年の大会ではベスグロを獲得しており、定年退職後はゴ

新入生歓迎会に出席して

すっかり様変わりした関大前通り、現役時代には無かったお店が何件も軒を連ねている。現役時代にはあの店があった、ここにはこれがある、それにしても変わったものだなと、感慨に耽りながら歩いていると、懐かしも新しい光景に出くわす。

学ランで一気に整列し、今か今かとOBや来賓の姿を待つ現役の男子たち。私を見つめるや否や、大きな声で挨拶。まさか自分にしてはわげやないよな?と知らぬそぶりをしてみますが、しつかりと私のところへ来て、荷物を持ってくれました(笑)そう、私も現役時代は門番担当でした。

そして足取り軽やかに凜風館へ。本年度は新OBがおらず、少し寂しい会になるのでは...と、危惧しておりました。しかし、会場に入ると、私の心配は一瞬にして一掃されました。

なんと現役団員の多いこと!自分が現役のときの悟はいたのではないのでしょうか。そしてその元気の良さに圧倒され、あれよあれよという間にOB席へ。

現役活動報告

～二部応援団最後の本部祭開催～

我々二部応援団は現在、リーダー部4名、チアリーダー部10名、吹奏楽部37名の計51名で日々活動しております。今年も24

名の元気な新団員が大勢入団し、現役一同心よりうれしく思っております。また我々63代は去年に引き続き「革進」をスローガンに掲げ、今年度の活動に取り組んでいきたいと思っております。今年度は、1年ぶりに全学年が揃い、より充実した応援団としての活動ができるようになりそうです。また、去年より引き続き2年目ということもあり、この経験を生かして、より良い活動をしていきたいと思っております。

昨年度は、本部祭「進軍」を開催するに当たり、多くの先輩より御指導ご支援をいただき、多くの先輩より御指導ご支援をいた



ルプ潰けの日々を送っているそうなので、来年度の馬券はトップ人気になりそうだ。

2位には千成会の鷲見彰治さん、3位にはスポーツマンクラブの奥西良康さんがそれぞれ入った。

来年度は、場所は未定ですが、日程は6月11日と決定しています。そして主催は我長柄会になっていきますので、より多くのOBの方のご参加を期待しています。

第35代 綿木 真二



に自己紹介。自分が一番元気に挨拶してやろうという気概が伝わってきました。

そして新入生による応援歌の演奏。吹奏楽部からリーダーへと名乗りを上げた3回生辻田君のリーダーのもの、たった2ヶ月の間で身に着けた新入団員のリーダー・ダンス・演奏。そして人に元気を送るといふ精神が、伝わってきました。

盛会のうちに、最後は岡本副団長の道通歌で締めくくると、会場の外で現役有志による第二次演奏。リーダー、吹奏問わず、男子部員がこぞってリーダーを振り、団員、OB、来賓で一同となって応援歌を熱唱。恥ずかしながらも1曲振らせていただきました。応援団の絆と温かさで、心を満たされた一日でした。

第61代 小中 栄二郎

ただけによる、現役一同これに向けて、日々精進していく所存であります。今年も祝日に開催いたしますので、ぜひお誘い合わせの上、ご来場の程宜しくお願いいたします。

最後に、この二部消滅に伴い、二部応援団も大変な状況に立たされています。この状況を乗り切るためにも、現役が一丸となって努力していかねければなりません。そのためにも、OBの諸先輩方のご協力は必要不可欠であります。どうぞ今後も変わらぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願



第63代 長井 春菜

関西大学二部 応援団本部 第63代 長井 春菜